

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公表番号】特表 2007-509063 (P2007-509063A)

【公表日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報 2007-014

【出願番号】特願 2006-535420 (P2006-535420)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 Z N A H

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 25/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 15 日 (2007.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多発性硬化症の処置のための自己 T 細胞ワクチンを作製する方法であって、以下：

(a) 該ワクチンで処置されるべき患者に由来する T 細胞を含む末梢血単核細胞の集団を提供する工程；

(b) $CD4^+$ T 細胞集団を減らす工程；

(c) M S 関連抗原および必要に応じて抗原提示細胞を添加する工程；および

(d) 工程 (c) を 1 回以上反復する工程；

を包含し、該 $CD4^+$ T 細胞集団を減らす工程は、該末梢血単核細胞から $CD4^+$ 細胞を除去することによる、方法。

【請求項 2】

前記 M S 関連抗原が、ミエリン塩基性タンパク質、プロテオリピドタンパク質、ミエリン稀突起神経膠細胞糖タンパク質およびこれらの組合せからなる群より選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 M S 関連抗原が、配列番号 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の配列を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

工程 (c) が、IL - 2 を添加する工程をさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

工程 (c) が、マイトジェンを添加する工程をさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記マイトジェンが、フィトヘマグルチニン、コンカナバリン A、アメリカヤマゴボウマイトジェン、および抗 CD 3 モノクローナル抗体からなる群より選択される、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の方法により作製された、自己 T 細胞ワクチン。

【請求項 8】

多発性硬化症を処置するための、請求項 7 に記載の自己 T 細胞ワクチン。

【請求項 9】

M S 関連抗原に反応性の C D 8 ⁺ T 細胞の富化集団を含む自己 T 細胞ワクチンであって、
C D 4 ⁺ T 細胞集団が減らされている、ワクチン。

【請求項 10】

M S 関連抗原に反応性の C D 8 ⁺ T 細胞の富化集団を含む自己 T 細胞ワクチンであって、
該 M S 関連抗原が、ミエリン塩基性タンパク質、プロテオリピドタンパク質およびミエリン
稀突起神経膠細胞糖タンパク質からなる群より選択される、ワクチン。

【請求項 11】

M S 関連抗原に反応性の C D 8 ⁺ T 細胞の富化集団を含む自己 T 細胞ワクチンであって、
該 M S 関連抗原が、配列番号 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載される配列を含む、ワクチン。